

ニュース

新幹線全線開業へカウントダウン

熊本駅東口に大屋根完成



▲大屋根が完成した熊本駅東口広場



COUNT DOWN 九州新幹線の風景



▲熊本駅前を進む車道中央の旧軌道を撤去する工事

熊本市電のサイードリザベーションは、開業に向けての熊本駅周辺整備の一環として、約570メートルの新設した軌道の移転後に、二本木口電停の乗降者が増加することが予想される。

▲駅舎エントランスから電停までを覆う大屋根が完成し、整備が進む熊本駅東口広場

▶田崎橋電停から眺めた建設中の合同庁舎A棟と東横イン熊本駅前



開業前、最後のレールウォーク



普段は、親子連れなど数多くの子どもたちで賑わいをみせた



新幹線熊本駅舎見学会を開催
熊本市 JR九州

熊本市とJR九州は5月22日、熊本駅でレールウォークと新幹線駅舎見学会を開催した。同市の抽選で選ばれた市民3千人や同社のJRウォーキング参加者など約7100人が一足先に開業前の駅舎や軌道へと足を踏み入れた。当日は真新しい駅舎内の見学に加えて、軌道敷きに下りてのレールウォークやホーム下の見学など貴重な体験が盛りだくさん。朝9時から夕方までの間、家族連れなどで賑わい、親子で手をつなぎながらレールを歩く姿や、レールの構造や特徴などを担当者に見学する姿も見られ、来年3月に迫る九州新幹線の全線開業に対する関心の高さが伺われた。工事を担当する鉄道運輸機構によれば、現在、同駅舎の進捗率は約95%と完成間近。今後は、架線への通電や、検査に入るため、駅舎見学会やレールウォークの開催は今後、最後の予定だ。



▲レールの構造や特徴など、担当者への質問が飛び交った